



ようこそ「やんたん」へ
お茶の郷で過ごす
やさしい時間

お茶のまち宇治田原町。その南東部に位置し、地
元では「やんたん」と呼ばれている「湯屋谷」は、
日本緑茶が生まれたところです。4つの谷を歩い
て巡れば、お茶どころの歴史やのどかな風景、人

とのふれあいが待って
います。心をゆっくり元
気にしてくれる、そんな
「やんたん」に出かけて
みませんか。

宇治田原町・湯屋谷への交通アクセス



鉄道・バス

京都	JR奈良線(快速)約20分	宇治
	近鉄京都線(急行)約25分	新田辺
奈良	JR奈良線(快速)約30分	宇治
	近鉄京都線(急行)約30分	新田辺
祇園四条	京阪本線(特急)約15分	中書島
淀屋橋	京阪本線(特急)約40分	中書島
	京阪宇治線約15分	宇治

宇治・新田辺駅より京都市営バス「工業団地行き」「緑苑坂行き」に乗りし
「工業団地口」バス停下車(所要時間の目安…約35分)

※バスの本数は限られますので事前の時刻表確認をおすすめします

「工業団地口」バス停からの主なスポットへの所要時間

▶宗円交流庵やんたん…徒歩約23分 ▶永谷宗円生家…徒歩約37分

自動車

名古屋方面よりお越しの方

・名神高速道路「瀬田東」JCT▶京滋バイパス▶「南郷」ICから約20分

大阪方面よりお越しの方

・名神高速道路「大山崎」JCT▶京滋バイパス▶「宇治西」ICから約25分
・名神高速道路「大山崎」JCT▶京滋バイパス▶「笠取」ICから約20分

大阪(枚方)方面よりお越しの方

・第二京阪道路「枚方学研IC」▶国道307号(京田辺方面)へ約35分
・国道1号を北上▶池之宮北交差点で国道307号へ約45分

奈良方面よりお越しの方

・国道24号を北上▶山城大橋東詰交差点を右折(甲賀方面)し、国道307号で約15分または京奈和自動車道「田辺西」ICから国道307号で約20分

発行

宇治田原町 産業観光課

TEL 0774-88-6638

2020年3月



宗円交流庵やんたん



観光情報サイト



移住サイト



湯屋谷温泉之全図
文明18年(1486年)に描かれた地図の写し。当時の湯屋谷にあった温泉の位置が示されている。



ら、ゆったりとお過ごしください。
あいの里。歴史の足跡に触れなが
ら離れ、おだやかな時が流れる谷
近年注目が集まっています。喧騒か
く伝統行事、地元のグルメ店にも
大の滝「大滝」や、江戸時代から続
サシヨウウオオもむという町内最
多彩な歴史を歩んでいます。また
掘されたり、温泉が湧いた時代があたり(現在は冷泉)、
とどまりません。太古は海の底だったことから貝の化石が採
日本茶の歴史と深く結びついた湯屋谷の魅力は、お茶だけに
なことができます。隣の茶宗明神社で
「新茶まつり」が開催され、生家周囲の茶畑で茶摘みや製茶体験
茶葉の製造に使った焙煎跡を見ることが出来ます。毎年5月には
現在、湯屋谷の奥地にある宗円の出生地では、生家が復元され、
の礎となりました。



として宗円を祀っています。

は、宗円の功績をたたえ、茶宗明神

などがあります。隣の茶宗明神社で

「新茶まつり」が開催され、生家周囲の茶畑で茶摘みや製茶体験

茶葉の製造に使った焙煎跡を見ることが出来ます。毎年5月には

現在、湯屋谷の奥地にある宗円の出生地では、生家が復元され、

の礎となりました。

す。この製法は「製煎茶製法」と呼ばれ、今日の日本緑茶の製法

の製法を独占することなく、多くの人に教え全国へと広めたそうで

しました。宗円はこ

で、たちまち大流行

「天下一」という名

本山)を通じて販売。

本嘉兵衛(のちの山

戸に上り、茶商・山

出します。宗円は江

た緑色のお茶を生み

色・味・香りに優れ

(元文3)年、ついに

大福谷からスタート!

お茶栽培は

宇治茶の主要産地「宇治田原町」。鎌倉時代、京都洛西・

高山寺を再興したことも有名な恵思上人の弟子によって

この地に栽培方法がもたらされたといわれます。最初に茶

の木が植えられたのは、霊峰・鷲峰山のふもとに広がる谷

あい・大福谷の奥地。周囲の樹木で風や日光がほどよく遮

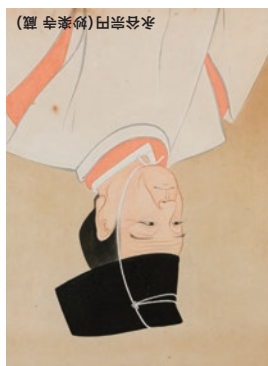
られ、霜が降りず、栽培に

適した環境であったことか

ら、大福谷のお茶は評判を

呼び、幕府や宮中にも献じ

られたと伝わります。



けてお茶の製法を研究し、1738

た永谷宗円です。宗円は15年か

町の湯屋谷で茶業を営んでい

をもたらした人物が、宇治田原

粗末な茶色いお茶だったそうす。そんなお茶事情に変化

広まった江戸時代、庶民が口にできたお茶は、香りも味も

今、一般的に飲まれている緑茶。ところが、民衆にお茶が

緑茶の生みの親は 湯屋谷にいた!

イラスト-2

山々に囲まれた大福谷エリア



られたと伝わります。

呼び、幕府や宮中にも献じ

ら、大福谷のお茶は評判を

適した環境であったことか

られ、霜が降りず、栽培に

あい・大福谷の奥地。周囲の樹木で風や日光がほどよく遮

の木が植えられたのは、霊峰・鷲峰山のふもとに広がる谷

この地に栽培方法がもたらされたといわれます。最初に茶

高山寺を再興したことも有名な恵思上人の弟子によって

宇治茶の主要産地「宇治田原町」。鎌倉時代、京都洛西・

大福谷からスタート!

お茶栽培は

宇治茶の主要産地「宇治田原町」。鎌倉時代、京都洛西・

高山寺を再興したことも有名な恵思上人の弟子によって

この地に栽培方法がもたらされたといわれます。最初に茶

の木が植えられたのは、霊峰・鷲峰山のふもとに広がる谷

あい・大福谷の奥地。周囲の樹木で風や日光がほどよく遮

られ、霜が降りず、栽培に

適した環境であったことか

ら、大福谷のお茶は評判を

呼び、幕府や宮中にも献じ

られたと伝わります。

※日本遺産(Japan Heritage)とは

地域の歴史的魅力や特色を通じ、日本の文化・伝統を語るスト

リーを日本遺産(Japan Heritage)として文化庁が認定するもの。ス

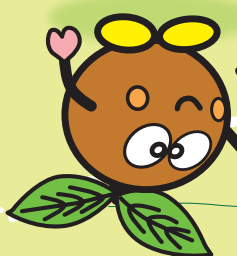
トリを語る上で欠かすことのできない文化財群(有形・無形間

わす)を、地域が主体となって整備・活用。そして国内外へと発信し

地域活性化の推進を目指します。宇治田原町の湯屋谷もストーリー

に組み込まれた「日本茶800年の歴史散歩」(京都府は、平成27年4月、

日本遺産(Japan Heritage)第1号に認定されました。



宇治田原町 湯屋谷ストーリー

宇治田原町 ストリー
茶ッピー

お茶 からひも解く日本遺産の町
やんたん

やんたん 散策マップ

宇治田原町で最初の茶の木が植えられたと伝わる付近に建つ看板。この看板の裏の山中には寺の遺構と思われる石垣も残る。



宇治田原茶発祥の地



「家康伊賀越えの道」の看板が建つ後ろ側一帯が宇治田原町で最初に茶づくりがはじまったと伝わるエリア

生活道路なので歩く時は車に気をつけて！



立ち寄りグルメ

A 高田通泉園



一番人気はほうじ茶ソフト。5月には新茶ソフトも登場。9:00～18:00(日祝10:00～) / 年末年始休 / 0774-88-3939

B そば処 実り



手打ち蕎麦が楽しめるお店。陶芸体験も実施。11:30～15:00 / 木金土日祝のみ営業(陶芸体験は水に実施・要予約) / 090-2389-9859

C リンデンバウム



地元野菜もたっぷり使った洋食は遠方からのファンも多数。11:00～15:00(L.O.14:30)、17:00～21:00(L.O.20:30) / 火休 / 0774-88-2647

D 宗円交遊庵やんたん あばんずキッチン



週末限定の茶汁セットがオススメ！宇治茶セットや、抹茶やほうじ茶のスイーツ、茶そばなど、お茶を使ったメニューも多彩。10:00～17:00(11月～2月10:00～16:00)茶汁セットは土日祝日の11:00～14:00限定 / 水木定休日 / 0774-46-8864

日本緑茶の歴史を感じる

宗円街道コース

石積みの家屋や茶問屋、茶畑などお茶にまつわるスポットを巡るコース。



永谷宗円生家(詳細はヒストリーのページにて)

モデルコース 1

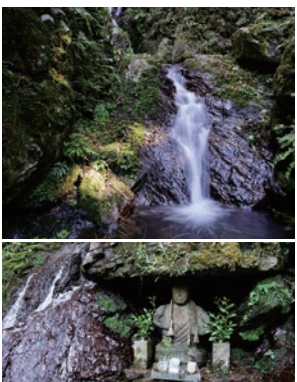
約4km

- 工業団地口 徒歩23分
- 1 湯屋谷会館 宗円交遊庵やんたん 徒歩7分
 - 2 冷泉 徒歩12分
 - 3 大福谷 徒歩6分
 - 4 宇治田原茶発祥の地 徒歩19分
 - 5 永谷宗円生家・茶宗明神社 徒歩14分
- 1 湯屋谷会館 宗円交遊庵やんたん

森林浴も楽しむ

大滝街道コース

永谷宗円生家と一緒に鷲峰山を水源とした「大滝」でマイナスイオンも満喫。



大滝に祀られたお不動さん

モデルコース 2

約6km

- 工業団地口 徒歩23分
- 1 湯屋谷会館 宗円交遊庵やんたん 徒歩9分
 - 2 長福寺 徒歩29分
 - 3 大滝 徒歩23分
 - 4 赤ヶ尾 入口 徒歩9分
 - 5 永谷宗円生家・茶宗明神社 徒歩14分
- 1 湯屋谷会館 宗円交遊庵やんたん
- ※所要時間は3.2km/時

湯屋谷の 行事

永谷宗円生家新茶まつり

(5月上・中旬の日曜)永谷宗円生家生家の茶畑で茶摘み体験、新芽を使った製茶体験、煎茶やおにぎりのふるまいなど充実した体験型イベント。



灯籠張りやんたん灯りまつり

(8月中・下旬)長福寺灯籠に野菜でつくった干支を飾り狂句を書き入れて奉納する「灯籠張り」は江戸末期から続く伝統行事。近年は「やんたん灯りまつり」も併催。



大瀧祭

(9/1)大滝江戸時代から行われていたと伝わる雨乞いの儀式。祝詞奏上の後、酒を飲ませた鰻を滝つぼへ放ちます。



新春手揉み茶奉納

(12/31～1/1)永谷宗円生家お茶の伝統製法・手揉みを一般公開(例年21時～翌2時頃)。完成後は隣接の茶宗明神社へ奉納。



茶臼づくりに使われたといわれる巨岩で、その奥側に「牛尾の滝」が流れている(滝の近くに行くことは困難)

町の人に会ったらあいさつをしよう！おしゃべりが弾むかも！



家康伊賀越えの道

「本能寺の変」後、徳川家康が堺から三河へ戻る時に通ったといわれる歴史的な道

町の西側へ続く山道でかつてはこの道を行き来した

黒豆坂の道標

工業団地配水池

尚美園製茶場

中畑茶園

工業団地

桜が咲く山際の小道

公園

日本遺産の看板

句碑

湯屋谷会館(駐車場)

永谷茶業

安井園製茶工場

句碑

上り坂

句碑

句碑

句碑

句碑

句碑

句碑